

地域を支える情報基盤「eコマウェア」の開発 -地域防災キットの開発に向けて-

防災システム研究センター

■「eコマウェア」とは…

地域防災力の向上のためには、地域全体が協働して主体的に防災に取り組んでいく必要があります。これを情報通信技術の面から支援するために、地域内外における様々な情報の連携および流通、発信、そしてコミュニケーションを促進する情報基盤として、「**eコマウェア**」の研究開発に取り組んでいます。

■地域コミュニティ向け災害リスク情報活用システム「地域防災キット」の研究開発

eコマウェアを基盤に、地域社会が協働し、地域自らが災害リスクをマネジメントするための支援ツールとして、「**地域防災キット**」の研究開発を行っています。

1. 敵を知り、自分を知る

- ① 敵＝地域の被害を想定
- ② 自分＝地域の防災力を評価

2. 対応策を考える

- ③ 時間的なこと→シナリオで考える
- ④ 空間的なこと→マップで考える

3. 対応策を実行する

- ⑤ 防災計画を立案し、実行する

eコマグループウェア

地域活動を支援する情報収集・発信・共有ツール群で、サイト全体の基盤

地域防災キットのイメージ

The screenshot displays a web-based interface for disaster management. It includes a map of a town (町内会) with various markers and information. There are sections for '災害' (Disaster) with a clock icon, 'マップ' (Map) with a map icon, and 'メンバー' (Members) with a list of users. The interface is designed to be user-friendly and accessible for community members.

①被害想定システム

The interface for the disaster damage estimation system shows a form with various input fields and a 'ハザードマップや人口統計等を活用し、地域住民の目線で、対策の基準となる起こりうる被害を想定' (Using hazard maps and population statistics, etc., to estimate potential damage from the perspective of local residents as a basis for countermeasures).

②防災力評価システム

The diagram illustrates the disaster resilience evaluation system, showing a central node connected to various external entities. The text states: '地域内外の主体との連携関係を可視化し、新たな協働関係の構築を支援' (Visualize the cooperation relationships with entities inside and outside the region, and support the construction of new collaborative relationships).

③災害リスクシナリオ作成システム

The interface for the disaster risk scenario creation system shows a map with various markers and a '地域に起こりうる出来事を、専門知や経験知を踏まえ、地域知を基に、時系列的に課題や対応策を検討' (Considering events that can occur in the region, based on professional knowledge and experience, and local knowledge, to examine issues and countermeasures chronologically). It also mentions '子どもと一緒に参加して考える「防災絵日記」にも発展' (Development into 'Disaster Drawing Diary' where children participate together).

④防災マップ作成支援システム(eコママップ)

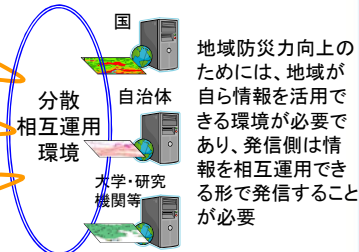
専門機関の災害リスク情報を下敷きに、地域の目線で集めた情報を地図上で重ね合わせ、危険箇所や防災資源、防災対策を空間的見地から理解・検討。地図の2画面表示や携帯電話からの投稿・閲覧にも対応。大判印刷はもちろん、A4サイズで分割印刷も可能。

分割印刷機能を活用し、参加型で地図を貼り合わせ、地域環境の理解を促進する「防災ジグソーマップ」

The screenshot shows a map creation interface with various layers and annotations. Text on the map indicates: '地域住民が地図上に情報を登録することが可能' (Residents can register information on the map), '自分の地域の災害リスク情報を探して重ねて表示することが可能' (Possible to search for and overlay disaster risk information of one's own region), and '検討している防災対策を地図上に書き込むことが可能' (Possible to write disaster countermeasures being considered on the map).

⑤地域防災計画実行支援システム

The interface for the disaster plan execution support system shows a map and a list of tasks. The text states: 'マップとシナリオを基に、地域としての行動計画を作成し、その実行を支援' (Based on the map and scenario, create an action plan for the region and support its execution).



■オープンソースソフトウェアとしての公開、開発者および利用者コミュニティの創出

研究成果の社会への還元として、「eコマウェア」をオープンソースソフトウェアとして無償公開しています。これをベースに、よりよいシステムに改良・改変を行うことが可能です。

特徴1: GNU GPLによるオープンソースで公開

特徴2: 無料で利用可能。商用利用も可能

特徴3: eコマをベースに改変と再配布も可能

eコマ公式サイト

<http://bosai-drip.jp/ecom-plat/>
ダウンロード公開中



<http://ecom-ware.jp/>

eコマウェア」の発展と普及を図るべく、開発者及び利用者のためのコミュニティの形成を促し、ソフトウェアの高度化や利用の推進のための活動を行っています。



独立行政法人 防災科学技術研究所
〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 Tel. 029-851-1611

【プロジェクトHP】 <http://bosai-drip.jp/>